



HARDWARE

WinFast GeForce3 TDH
Leadtek Research p.176~177

Barracuda ATA IV
Seagate p.178

MCJ3230AP
富士通 p.179

CD-RW280PU
ティアックスシステムクリエイト p.180

IGM-U1500C
メルコ p.181

SYS-1510P
Sys Technology p.182

DV WONDER
ATIテクノロジーズ p.182

SOFTWARE

ファイルメーカーPro 5.5
ファイルメーカー p.183

Macromedia Flash 5 FreeHand 10
Studio 日本語版
マクロメディア p.184

LogCasterR3.1 日本語版
ネットジャパン p.185

SmartDraw 5J Plus
ビーアンドイー p.186

WinRip ARENA
インフォマジック p.187

愛しのP級ソフトウェア

桜金造の怪奇談
〜パソコンで楽しいお手軽きもだめし〜
イーフロンティア p.188

176

DOS/V magazine 2001-9.1

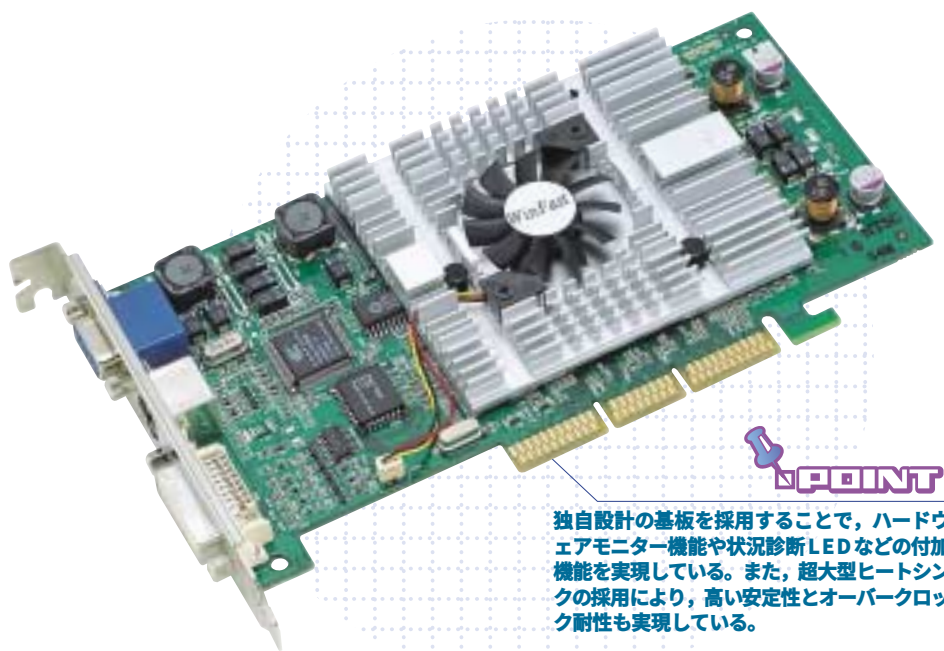
独自設計の基板と超大型ヒートシンクを採用した
安定性の高いビデオカード



Leadtek Research

WinFast GeForce3 TDH

価格：オープンブライズ (実勢価格：4万9000円前後)



POINT
独自設計の基板を採用することで、ハードウェアモニター機能や状況診断LEDなどの付加機能を実現している。また、超大型ヒートシンクの採用により、高い安定性とオーバークロック耐性も実現している。



動作環境を

細かくモニターしてくれる新設計

台湾Leadtek Research(以下Leadtek)から登場した「WinFast GeForce3 TDH」は、ビデオチップにNVIDIAの最新チップGeForce3を搭載したハイエンドビデオカードである。同社からは今年4月に、同じくGeForce3を搭載した「WinFast GeForce3 TD」が発売されているが、本製品はその後継モデルに位置づけられる。GeForce3搭載ビデオカードは、そのほとんどがNVIDIAから提供されるリファレンスカードの設計をそのまま利用している(WinFast GeForce3 TDも同様)。これに対し、本製品は、Leadtekが独自に設計した基板の採用によって、ビデオ

カードとしての付加価値をさらに高めていることがうかがえる。

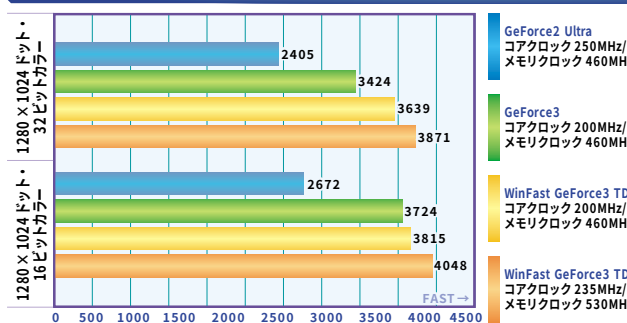
WinFast GeForce3 TDHの特徴の一つに、ビデオチップの表面温度や供給電圧などを監視するハードウェアモニター機能が挙げられる。この機能は、同社のGeForce2 MX400搭載ビデオカードでも実現されていた機能だが、旧モデルには装備されていなかった。

付属のユーティリティ「WinFox」によって、リアルタイムにチップ温度などを監視でき、設定温度を超えると警告する機能もあるので、長時間連続運用の動作状況も安心だ。また、ビデオカードの動作状況を3色のLEDで知らせる「Diagnostic LED」機能も搭載している。3色のLEDは、エラー(赤)、電源

オン(緑)、AGP 4Xモード(黄色)を表す。

RGB出力(D-Sub15ピン)、ビデオ出力(Sビデオ端子)、DVI出力(DVI-I端子)の3種類の端子を装備しているため、PC用ディスプレイはもちろん、テレビやデジタル入力方式の液晶ディスプレイなどにも接続可能だ。S端子-コンポジット変換ケーブルも付属している。ただし、GeForce3自体は、TwinViewなどのデュアルディスプレイ出力機能を装備していないため、複数の出力端子から別々のデスクトップ画面を出力することはできない。ビデオエンコーダとしてはCONEXANTのCX25871が、TMDSトランスミッタとしてはSilicon ImageのSil64CT64が採用されている。

グラフ 3DMark2001 3DMark値



テスト環境
CPU : Pentium III/750MHz
マザーボード : ASUS TeK COMPUTER CU SL2 (Intel 815Eチップセット)
メモリ : PC133 SDRAM 128MB (CL=3)
HDD : IBM DTLA-307020 (20.5GB)
OS : Windows 98 SE + DirectX 8.0

注1 : GeForce3搭載ビデオカードでは「D3D Pure Hardware T & L」を選択、GeForce2 Ultra搭載ビデオカードでは「D3D Hardware T & L」を選択した。
注2 : ディスプレイドライバのバージョンは、WinFast GeForce3 TDHでは「4.13.01.1260」、GeForce3搭載ビデオカード(A3ステップ)とGeForce2 Ultra搭載ビデオカードでは「4.13.01.1100」を使用。



▲ 本体にはRGB (D-Sub15ピン)出力のほか、S-Video端子とDVI端子を持っている



「スピードランナー」機能を利用すれば、コアクロックやメモリクロックを自由に変更可能だ



▲ ハードウェアモニター機能により、ビデオチップの表面温度や供給電圧などを監視できる



▲ 新たに取り付けられた超大型のヒートシンクと5200rpmファンで放熱効率が向上している



▲ 付属のディスプレイドライバのバージョンは最新の「4.13.01.1260」



▲ ビデオカードの状態を表す3色のLED。左からエラー(赤)、電源オン(緑)そしてAGP 4Xモード(黄色)となっている。ビデオカードの調子が悪いときには確認するとい

超大型ヒートシンクの搭載で
放熱効率が向上

GeForce3は発熱が大きいので、安定動作を実現するにはファン付きのヒートシンクが必須である。また、メモリも460MHz (230MHzのDDR)という高いクロックで動作するため、ヒートシンクによって冷却するのが望ましい。

WinFast GeForce3 TDHは、基板の総面積の約半分にも達する超大型ヒートシンクが採用されていることも特筆できる。この超大型ヒートシンクは、ビデオチップだけでなくビデオメモリの表面もすべてカバーする構造になっており、冷却性能は旧製品に比べて大幅に向上している。

WinFast GeForce3 TDHを含むほとんどのビデオカードが、ビデオチップとビデオメモリにそれぞれ別のヒートシンクを装着しているのに対し、WinFast GeForce3 TDHの超大型ヒートシンクは一体型になっている。ヒートシンクには5200rpmの高回転ファンが装着されており、ビデオチップとビデオメモリを効率よく冷却することが可能だ。デフォルトでは、コアクロック200MHz、メモリクロック460MHzの定格で動作しているが、付属ユーティリティの「スピードランナー」

機能を利用すれば、コアクロックを150~350MHz、メモリクロックを408~558MHzの間で自由に設定することができる。超大型ヒートシンクの装備によって、安定性や信頼性が向上しているだけでなく、オーバークロック耐性も向上しているのである。もちろん、オーバークロックはメーカーの保証外の行為となるので、自己責任で挑戦してもらいたい。

付属ソフトも充実し、
買い得感が高い

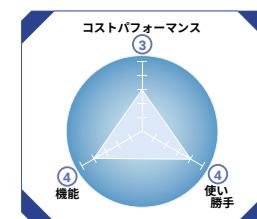
WinFast GeForce3 TDHは、付属ソフトも充実している。詳細な設定が行えるユーティリティソフト「WinFox」(日本語版)やDVD再生ソフト「WinFast DVD」(日本語版)、カラーキャリブレーションツール「Coloric」「True Internet Color」(ともに英語版)、3D描画時のガンマ値調整ツール「3Deep」(英語版)、3Dビューワ「Cult 3D」(英語版)に加えて、DirectX 8対応のゲームソフト「DroneZ」(ソフト自体は英語版だが、日本語オンラインマニュアルが付属)と「Gunlok」(英語版)も付属しており、買い得感が高い。

また、本製品に付属するディスプレイドライバのバージョンは「4.13.01.1260」で、NVIDIAがWebサイトで公開しているリファレンスドライバ「Detonator3」の最新バージョン「4.13.01.1241」よりも新しいものだ。搭載するGeForce3も量産版のA5ステップである。そのため、以前にテストしたGeForce3搭載ビデオカード(A3ステップのチップを搭載した評価用カード)よりもパフォーマンスが向上している可能性がある。

そこで、3DMark2001を用いて、ベンチマークテストを行ってみた。結果はグラフのとおりで、A3ステップのGeForce3搭載ビデオカードに比べて、明らかにパフォーマンスは向上している。また、スピードランナー機能を使って、コアクロックとメモリクロックを上げてみたところ、コアクロック235MHz/メモリクロック530MHzという高いクロックでも、3DMark2001が完走した。オーバークロック耐性には個体差もあるが、WinFast GeForce3 TDでは、コアクロック221MHz/メモリクロック499MHz程度が限界であったので、超大型ヒートシンクを採用した効果はかなりのものだ。

GeForce3搭載ビデオカードが市場に登場してから約3か月が経過し、DirectX 8対応ソフトも少しずつ増え

てきた。GeForce3の高いパフォーマンスをフルに発揮できる環境がようやく整いつつあるといってもよい。WinFast GeForce3 TDHの実売価格は、WinFast GeForce3 TDと同じ4万9000円前後であり、ハードウェアモニター機能やDiagnostic LEDといった付加機能が強化されていることを考えれば、コストパフォーマンス的にも悪くない。最新3Dゲームの描画ディテールをフルにして快適にプレイしたいというのなら、本製品を購入してみたいはいいだろうか。(石井英男)



製造元 : Leadtek Research
問い合わせ先 : パーテックスリンク
☎03-5259-5129
http://www.leadtek.com/

ビデオチップ : NVIDIA GeForce3
ビデオメモリ : 64MB DDR SDRAM
対応OS : Windows 98/Me/NT4.0/2000
付属ゲームソフト : DroneZ, Gunlok

177

Review